

ウォシュレット® Jシリーズ 施工説明書

◆「ウォシュレット」はTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

新機構情報

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが作動しません。(新型のベースプレートは本体着脱検出用のスイッチを内蔵しています。)

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⊘ してはいけない「禁止」の内容です。 ⚠ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)	交流100V以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)	車輛・船舶など、移動体への設置はしない ●火災や感電、故障の原因になります。 ●ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外 は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの 差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)	アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取 り付ける アース接続(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の 原因になります。)		

注意

止水栓を開けたまま給水フィルター付水抜栓 をはずさない (水が噴き出します。)	給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは 確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)	施工は施工説明書に従って確実に 行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因に なります。)	

取り付け前のご注意

- 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
 - 便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートを通電しないてください。温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因となります。
 - 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はJ1:408W、J2・J3:413Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
 - 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 - 給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
 - 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
 - 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOパーツセンター TEL ☎0120-8282-55
FAX ☎0120-8272-99 へご連絡ください。

給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約1mです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、③給水ホースの接続の②項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

右給水の隅付タンクへ接続する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りませんので別売品の中継アダプタTCA58が必要となります。

フラッシュバルブへ接続する場合

- 分岐口のあるFVに接続する場合→別売品の専用アダプタTH343Rが必要となります。
- 分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタTH484(FVの給排水芯120mm用)またはTH484-1(低圧FV用)が必要となります。
- 分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品のTH347-1R(節水型)またはTH502-1R(普通型)が必要となります。

部品の確認

1 ウォシュレット本体 	2 分岐金具 パッキン(2個)
3 ベースプレート一式 ※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。 分解された場合、歯付座金には方向性があります。ご注意ください。 くぼみ(2カ所)のある面が下になります。 本体着脱検出スイッチ内蔵	4 給水ホース(パッキン付) パッキン
5 取扱説明書(裏表紙保証書付) 快適宅配便 	

各部の名称

便ふた ラベル
給水フィルター付水抜栓
電源プラグ
分岐金具
アース線
給水ホース
ベースプレート
着座センサー(側面)
ノズル
暖房便座
本体は少しボタン(及び水抜きレバー)
(押す: 本体をはずせませす 引く: 水抜きできます)

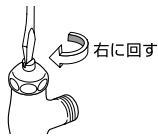
取付方法

1 分岐金具の接続

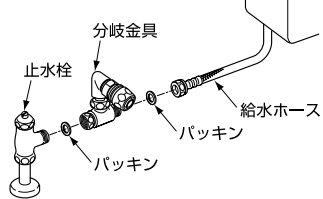
記載の接続方法は代表例です。
現場の配管に合わせて接続してください。

一般のロータンクへ接続する場合 <給水ホース>

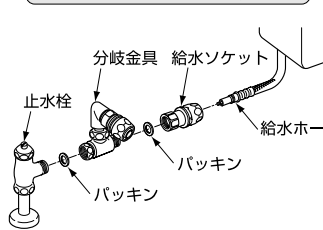
1 止水栓を閉める



2 分岐金具を取り付け、給水ホースを取り付ける

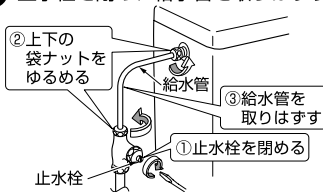


ワンタッチカブラの場合

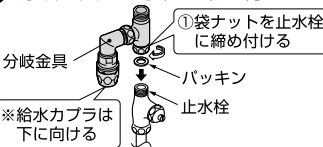


一般のロータンクへ接続する場合 <給水管>

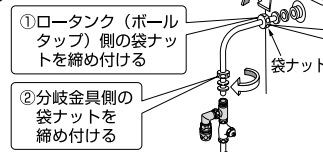
1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす



2 分岐金具を止水栓に取り付ける



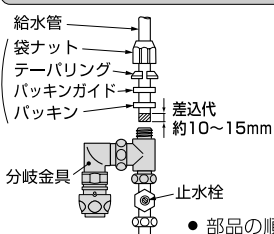
4 給水管を取り付ける



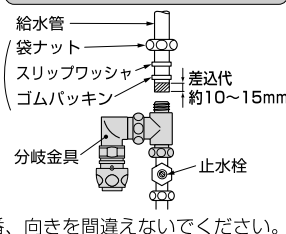
3 給水管の止水栓側を切断する



接続部にテーパリングを使用している場合

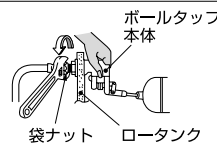


接続部にテーパリングを使用していない場合



注意

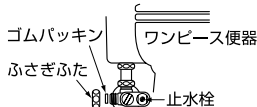
- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。



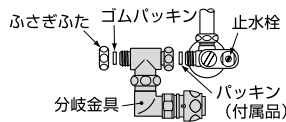
ワンピース便器へ接続する場合

1 止水栓を閉める

2 ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす



3 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける



2 便器への取り付け

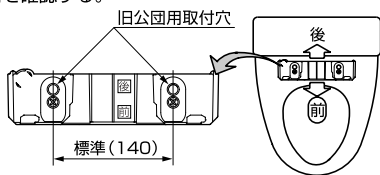
一般の便器への取り付け

注意 すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレート（本体重脱検出用スイッチ内蔵）に取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォッシュレットが作動しません。

1 ベースプレートの取付方向を確認する。

POINT!

罫線と表示している面が表側です。罫線と表示している方を便器の先端側向けます。

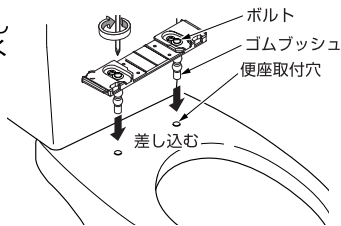


2 仮締め

ゴムブッシュを便器取付穴に差し込み、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締める。

POINT!

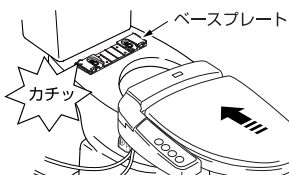
ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとしり込みやすくなります。



3 本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む。

POINT!

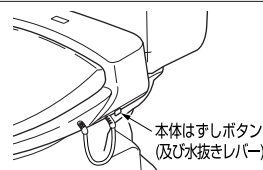
本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



4 本体がまっすぐ取り付くことを確認し、一旦本体を取りはずす。

POINT!

本体はすしボタン（及び水抜きレバー）を押しのまま手前に引くとはずせません。

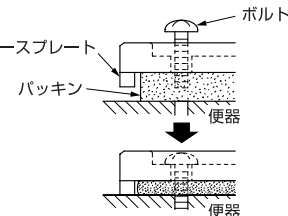


5 本締め

ベースプレートが便器にあたるまでボルトをしっかりと締めた後、再び本体を「カチッ」と音がするまで押し込む。

POINT!

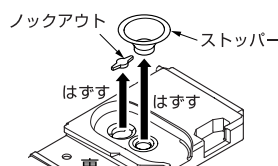
パッキンがつぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締め付けてください。



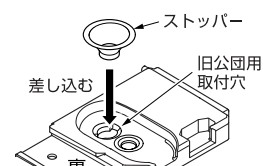
※本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタツキが発生します。（これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。）

旧公団用便器への取り付け

1 ストッパーをはずし、ノックアウトを取りはずす。



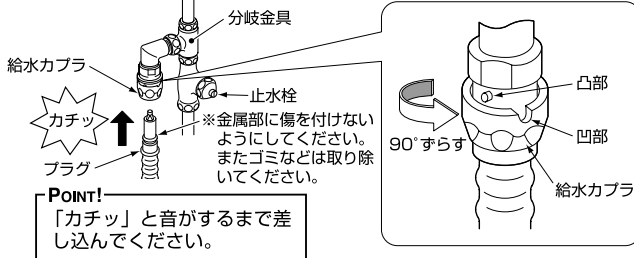
2 ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える。



3 給水ホースの接続

① ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける。
※この状態のまま製品を床に置かないでください。給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。

② 給水ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む。
(給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)

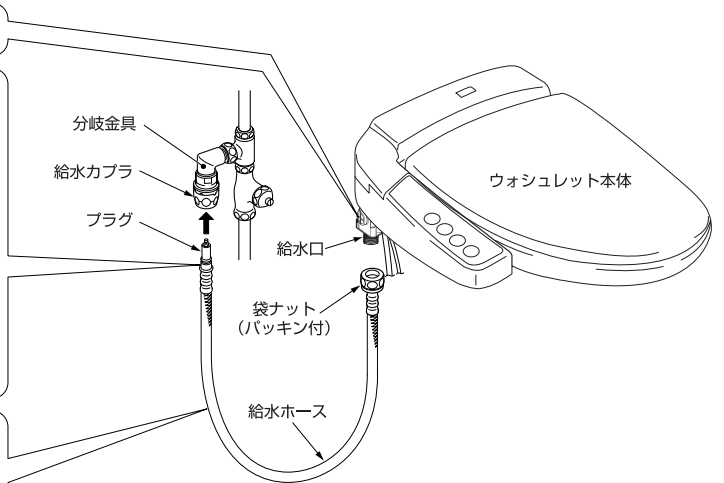


③ 給水ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する。

※給水ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは970mmです。)
お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99 へご連絡ください。

給水ホース長さ(mm)	品番
1180	D24009Znt5
1480	D24009Znt6
1980	D24009Znt7

※分岐金具の給水カブラは一時止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。



給水ホースのはずしかた

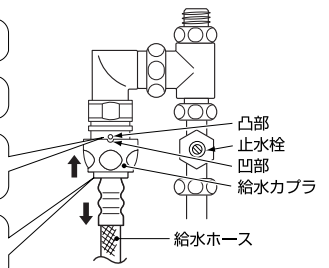
施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

① 止水栓を閉める

② ロータンクの水を流す

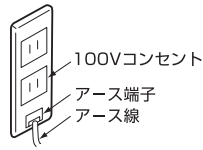
③ 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる

④ 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く



4 アース線の接続

- アース線をコンセントのアース端子に接続する。
- ※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

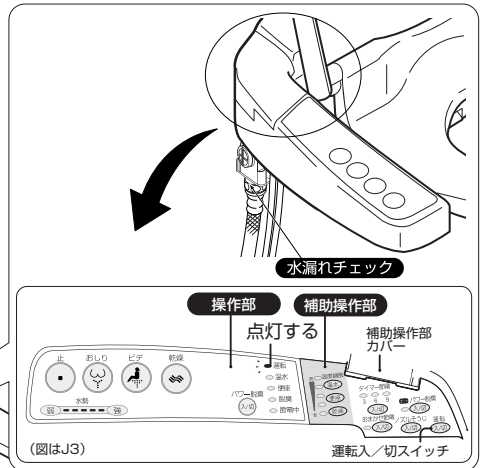
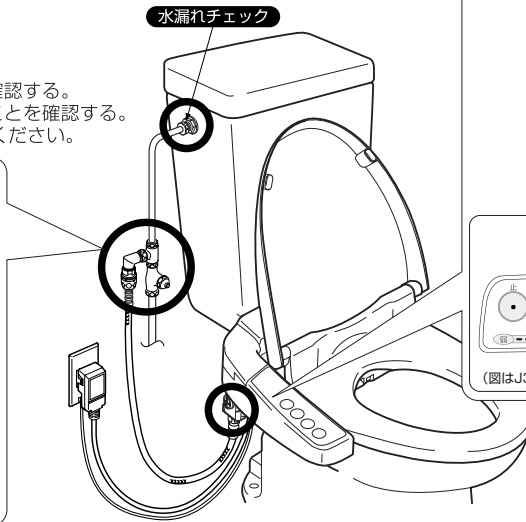
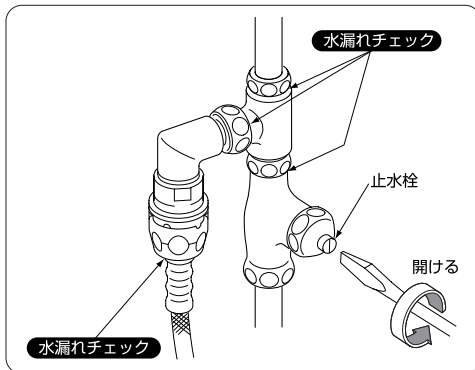


試運転

- 取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。
- 試運転が完了したら「運転入/切」スイッチが、必ず「入」になっていることを確認してください。(「入」のときは、操作部の「運転」ランプが点灯します。)

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する。
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する。
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い水漏れを止めてください。



2 電源プラグの確認

① 電源プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む。

CHECK!

ノズルが一旦出て戻る初期動作を行うか確認してください。

② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して正常に作動することを確認する。

CHECK!

「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
以上の動作であれば正常です。

「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

試 運 転

3 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう。

POINT!

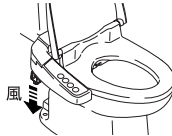
着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。



2 脱臭機能を確認する。(J2・J3のみ)

CHECK!

● 操作部側面下部の吹出口より風が出ていますか？



3 パワー脱臭機能を確認する。(J2・J3のみ)

CHECK!

- **パワー脱臭**
● **入/切** スイッチを押すと風が強くなりますか？
- **パワー脱臭**
● もう一度、**入/切** スイッチを押すと元の強さに戻りますか？

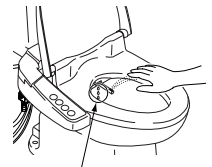
4 洗浄機能を確認する。

CHECK!

- **おしり** **ビデ** スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか？
(温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- 水勢調節スイッチ **弱** **強** を押すと水勢が変化しますか？
- **止** スイッチを押すと止まりますか？

POINT!

吐水は手のひらで受けてください。



洗浄時ノズルの根元からも水が出ますが、これは機能上必要なもので異常ではありません。

5 乾燥機能を確認する。(J3のみ)

CHECK!

- **乾燥** スイッチを押すと温風がノズルの左側から出ますか？
- **止** スイッチを押すと止まりますか？



6 暖房便座機能を確認する。

CHECK!

便座があたたまるまで約15分かかります。

7 着座センサーの白紙をはずす。

8 オートパワー脱臭機能を確認する。(J2・J3のみ)

CHECK!

- 白紙をはずしたときに脱臭音が大きくなりますか？
- ※着座センサーを30秒以上白紙でおおわないとオートパワー脱臭は作動しません。
- 1分後に自動的に止まりますか？

給水フィルターの掃除

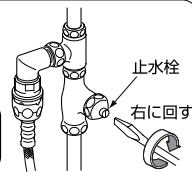
- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

1 止水栓を閉めて給水を止める。

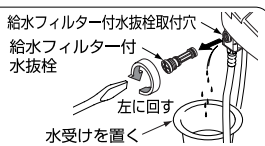
- ロータンクの水を流してください。(給水管内の圧抜きです。)

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出します。)



2 給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす。



3 フィルターを水洗いする。

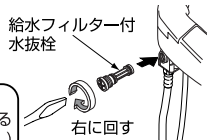
- 小さなゴミは歯ブラシなどで確実に取り除いてください。
- 本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締める。

注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める(確実に締まらないと水漏れの原因になります。)



5 止水栓を開ける。

6 給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する。

凍結のおそれがあるときの処置

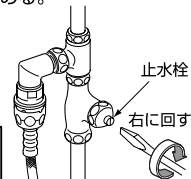
- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。(電源プラグは差し込んだままにしてください。)

1 止水栓を閉めて給水を止める。

- ロータンクの水を流してください。

POINT!

ロータンクの水が流れ出してしまうまでレバーを回したままにしてください。



3 本体を取りはずす



2 配管の水を抜く

- 補助操作部の「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す。(製品内の残水を抜きます。)
- 給水フィルター付水抜栓をはずす。詳しくは「給水フィルターの掃除」の項をご覧ください。

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない
● 水が噴き出します。

- 給水ホースを給水カブラからはずし、先端を容器で受ける。



- 再度、「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す。

4 本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を引いて本体内の水を抜く

- 本体をはずさないで水抜きレバーは引けません。
- 本体下側から水(約1.2L)が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。

5 給水ホースを給水カブラに差しこむ。「カチッ」と音がします。詳しくは③給水ホースの接続②項をご覧ください。

6 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締めてください。



注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める
● 確実に締まらないと、水漏れの原因になります。

工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。(但し凍結が予想される場合は、電源プラグを抜かないでください。)